

	神戸大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:140 第3年次編入:25） 大学院理学研究科（M:122 D:29）
沿革	昭和24（1949）年 神戸大学文理学部理科として発足 昭和29（1954）年 文理学部を改組し、理学部を設置 昭和40（1965）年 大学院理学研究科修士課程設置 昭和56（1981）年 大学院自然科学研究科博士課程後期課程設置 （後期三年の課程のみの博士課程） 平成6（1994）年 大学院理学研究科を改組し、大学院自然科学研究 科博士課程前期課程とした 平成19（2007）年 大学院自然科学研究科博士課程を改組し、大学院 理学研究科博士課程設置
設置目的等	<p>神戸大学理学部の前身となる文理学部は、元々は大正12年に創設された旧制姫路高等学校にさかのぼる。昭和24年の神戸大学発足に伴い、姫路高等学校、神戸経済大学予科、神戸工業専門学校、兵庫師範学校、及び兵庫青年師範学校を前身として、「一般教養課程」の教育組織を内包し、人文・社会及び自然の各部門に互る有為の人材を養成することを目的として文理学部が設置された。</p> <p>昭和29年に、自然科学分野における、より専門的な学識を有する人材の養成を目的として、理学部(数学科・物理学科・化学科・生物学科)として独立した。</p> <p>昭和32年、理学研究科の前身となる理学専攻科（数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻）が設置された。</p> <p>昭和40年、理学専攻科が廃止され、一般的並びに専門的教養の上に、広い視野に立って精深な学識を修め理学における理論と応用の研究能力を養うことを目的として、理学研究科修士課程（数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻）が設置された。昭和52年には地球科学専攻が設置された。</p> <p>その後、大学院博士課程の設置が検討され、前段階として昭和55年には理学研究科に物質科学専攻に博士課程後期課程が設置された後、昭和56年、自然科学系分野に対する学問的・社会的要請をふまえて、理学、工学及び農学にまたがる幅広い立場から総合的な新しい学問体系の確立をはかり、また、その教育・研究を通じて、科学・技術</p>

	<p>の発展と人類の福祉向上に貢献することを目的として、5専攻(物質科学専攻、生産科学専攻、資源生物科学専攻、環境科学専攻、システム科学専攻)からなる独立研究科としての自然科学研究科博士課程後期課程(後期三年の課程のみの博士課程)が設置された。</p> <p>平成6年には、理学研究科、工学研究科、農学研究科の修士課程を統合し、旧来の研究科間の枠を取り払い、より広い視野の研究者・技術者の育成を目的に、大学院の一貫した教育を進めるため、理学研究科修士課程を廃止し、区分制博士課程としての自然科学研究科博士課程の前期課程に移行した。</p> <p>平成19年、学士課程から、博士前期課程、博士後期課程を通じた教育の組織展開を図り、従来分野横断的な教育研究を維持しつつ、学生の視点に立った教育、ディシプリンを重視した教育の展開を図ることを目的に、自然科学研究科を改組し、ディシプリンを重視した教育を行う区分制の理学研究科博士課程(数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地球惑星科学専攻、の5専攻よりなる)と分野横断的な学際教育研究を行う自然科学系先端融合研究環が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>神戸大学においては、グローバルな先端研究の推進を図りつつ、自然科学分野の探求と創造に寄与する人材養成を行い、世界的水準の学術研究に寄与することを目指して教育研究に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、幅広い知識と高い専門性を有し、学際的視野、豊かな創造性・国際性、課題探求能力を有する高度専門職業人の育成の役割を果たすとともに、高度な研究能力を持つ先導的な人材の育成の役割を果たす。 ○ 理数系共通教育の中核を担いつつ、体系化されたカリキュラムによる少人数精鋭教育を実施している。分野横断的科目の実施と国際的な研究連携を生かし、グローバルに活躍できる理系人材を育成する学部・大学院教育を目指して更なる改善・充実を図る。 ○ 代数幾何と可積分系、数学計算プログラム、電子型ニュートリノ出現現象、LHC 加速器 ATLAS 実験によるヒッグス粒子発見、分子レベルでの音の影響、イオン液体、アミロイド線維、植物の発生成長、RNA 生物科学、DNA 損傷・修復、地磁気逆転、マグマ活動、星間物質の進化と衝突実験、等の学術的価値の高い特色ある研究を行い、国際的に高い研究水準を維持するとともに、分野を越えた融合研究を推進する全学協力体制も生かし、理学分野の優れた研究の発展と新規領域の開拓により、世界トップを目指す研究を推進す

る。さらに、三つのグローバルCOE研究を継承しつつ、欧州合同原子核研究機構、国際宇宙科学研究所、海洋研究開発機構、あるいは国内外の大学・研究機関との連携を推進し、アジア・世界における理学分野の研究ネットワークの拠点をめざす。

- 模擬授業、サイエンスセミナー、関西科学塾等の連携活動を通じ、中高生・市民の理学系学問への関心を高めるなどにより、理学系教育の高度化に寄与する。さらに、地域企業との共同研究の推進等により、地域産業界の高度化・活性化に寄与する。
- 企業等に在職のまま博士後期課程へ入学を希望する社会人を受け入れており、社会人の学び直しを推進する。